

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-132186

(P2003-132186A)

(43)公開日 平成15年5月9日(2003.5.9)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ド (参考)
G 0 6 F 17/60	1 6 2	G 0 6 F 17/60	1 6 2 A
	1 2 4		1 2 4

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願2001-325380(P2001-325380)

(22)出願日 平成13年10月23日(2001.10.23)

(71)出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通 2 丁目 5 番 5 号

(72)発明者 山田 晃弘

大阪府守口市京阪本通 2 丁目 5 番 5 号 三

洋電機株式会社内

(72)発明者 松岡 健文

大阪府守口市京阪本通 2 丁目 5 番 5 号 三

洋電機株式会社内

(74)代理人 100105924

弁理士 森下 賢哉

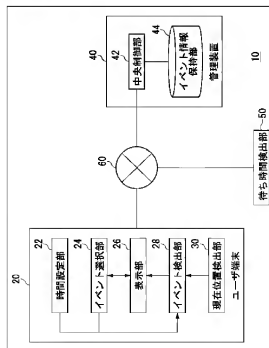
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 スケジュール提案システムおよびスケジュール提案方法

(57)【要約】

【課題】 人が多く集まる場所では、あるイベントを体験するために長い列に並んで待たなければならず、効率よくイベントを体験することができない。

【解決手段】 スケジュール提案システム 10 は、ユーザが利用できる利用可能時間の開始時刻および終了時刻を設定する時間設定部 22 と、複数のイベント候補の中から体験したいイベントを優先順位を付けて選択させる選択部 24 と、優先順位の高いイベントから順番に空き時間に体験可能か否かを判定し、ユーザが体験可能なイベントを抽出するイベント検出部 28 とを含む。イベント検出部 28 は、各イベントの実施位置、実施時間、特定の時刻に始まるものについてはその開始時刻および各イベントを体験するのに必要な待ち時間を参照してイベントを抽出する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ユーザの利用可能時間の開始時刻および終了時刻を設定する時間設定部と、
ユーザが必ず実行したい必須予定を入力する入力部と、
前記利用可能時間において、前記必須予定を実行するのに必要な時間を除いた空き時間にユーザが体験可能なイベントを検出するイベント検出部とを含むことを特徴とするスケジュール提案システム。

【請求項2】 前記イベント検出部は、複数のイベント候補を表示する表示部と、前記複数のイベント候補の中からユーザに体験したいイベントを選択させる選択部と、を含み、
選択されたイベントの中から前記体験可能なイベントを検出することを特徴とする請求項1に記載のスケジュール提案システム。

【請求項3】 前記選択部は、前記体験したいイベントを優先順位をつけて選択させ、
前記イベント検出部は、優先順位の高いイベントから順番に体験可能か否かを判定し、前記体験可能なイベントを検出することを特徴とする請求項2に記載のスケジュール提案システム。

【請求項4】 前記イベント検出部は、前記空き時間に複数のイベントを体験可能な場合、体験可能なイベントの混雑状況に応じて各イベントを体験するスケジュールを配列することを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載のスケジュール提案システム。

【請求項5】 イベントを体験するまでに必要な待ち時間を略リアルタイムで検出する待ち時間検出部をさらに含み、
前記イベント検出部は、前記待ち時間検出部に検出された待ち時間も参照して、前記体験可能なイベントを検出することを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載のスケジュール提案システム。

【請求項6】 ユーザの現在の位置を検出する現在位置検出部と、
前記必須予定の行われる位置および各イベントの実施位置を登録する位置登録部と、
前記ユーザの現在位置、必須予定の行われる位置、および各イベントの実施位置とに基づき移動時間を算出する算出部と、をさらに含み、
前記イベント検出部は、前記移動時間も参照して前記体験可能なイベントを検出することを特徴とする請求項1から5のいずれかに記載のスケジュール提案システム。

【請求項7】 ユーザの利用可能時間の開始時刻および終了時刻を設定する時間設定部と、
複数のイベント候補の中から体験したいイベントを優先順位を付けて選択させる選択部と、
優先順位の高いイベントから順番に前記空き時間に体験可能か否かを判定し、ユーザが体験可能なイベントを検

出するイベント検出部とを含むことを特徴とするスケジュール提案システム。

【請求項8】 各イベントの実施位置、実施時間、特定の時刻に始まるものについてはその開始時刻、およびそのイベントを体験するのに必要な待ち時間を保持するイベント情報保持部をさらに含み、
前記イベント検出部は、前記イベント情報保持部を参照してイベントを検出することを特徴とする請求項7に記載のスケジュール提案システム。

【請求項9】 各イベントの待ち時間を略リアルタイムで検出する待ち時間検出部をさらに含み、
前記イベント情報保持部は、前記待ち時間検出部に検出された待ち時間を前記待ち時間として随時更新して保持することを特徴とする請求項8に記載のスケジュール提案システム。

【請求項10】 所定のエリア内で提供される複数のイベントを体験する利用可能時間を設定し、各イベントの混雑状況を参照して、前記利用可能時間内に体験可能なイベントを検出するスケジュール提案方法。

【請求項11】 所定のエリア内で提供される複数のイベントを体験する利用可能時間を設定し、ユーザが体験したいイベントを優先順位をつけて選択させ、優先順位の高いイベントから順番に前記利用可能時間内に体験可能か否かを判定して体験可能なイベントを検出し、検出したイベントを前記利用可能時間を示すスケジュールに配列し、前記利用可能時間において、配列されたイベントを除いた空き時間に体験可能なイベントを順次検出していくことを特徴とするスケジュール提案方法。

【請求項12】 所定のエリア内で提供される複数のイベントを体験する利用可能時間を設定し、前記利用可能時間内にユーザが体験可能なイベントを検出してユーザに提示し、提示したイベントの中からユーザが体験したいイベントを選択させ、前記利用可能時間において、選択されたイベントを除いた空き時間に体験可能なイベントを順次検出してユーザに提示していくことを特徴とするスケジュール提案方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、スケジュールを提案する技術に関する。

【0002】

【従来の技術】遊園地やテーマパークのようにたくさんの人が集まる場所では、ひとつのアトラクションを体験するのに長い列に並んで待たなければならないことがよくある。あまりの列の長さに並ぶのを躊躇している間には列はどんどん長くなり、時間が過ぎてしまうこともある。人気のあるテーマパークでは、実際にアトラクションを楽しんでいる時間よりも待ち時間の方が圧倒的に長くなり、いかに待ち時間を減らして効率よくアトラクションを体験するかということは利用者にとって大き

な関心事である。そのため、人気のあるテーマパークの特集を載せた雑誌は後を絶たず、そのテーマパークの効率的な回り方などが紹介されている。テーマパークの利用者は、このような雑誌を参考にして、一定の時間内でより多くのアトラクションを楽しもうと計画をたてる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、ユーザによって興味のあるアトラクションというのは異なり、マニュアル化された雑誌の記事が必ずしも役に立つとは限らない。また、曜日、時刻、季節に応じて入出も異なり、アトラクションごとの待ち時間も変わってくる。

【0004】本発明はこうした背景からなされたものであり、その目的は、ユーザに効率的なスケジュールを提案する技術の提供にある。本発明は、テーマパークに限らず日常生活の中でも、ある予定までに少しの空き時間ができたときに、その時間に体験できるイベントを検出する技術の提供をも目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明のある態様は、スケジュール提案システムに関する。このシステムは、ユーザの利用可能時間の開始時刻および終了時刻を設定する時間設定部と、ユーザが必ず実行したい必須予定を入力する入力部と、利用可能時間において、必須予定を実行するのに必要な時間を除いた空き時間にユーザが体験可能なイベントを検出するイベント検出部とを有する。

【0006】ここで、このスケジュール提案システムは、遊園地やテーマパークで用いられる。この場合、イベントとは例えばジェットコースターや観覧車などのアトラクションのことである。このシステムは、検出したイベントをユーザに提示する表示部をさらに含んでもよい。なお、時間設定部は、ユーザに利用可能時間を設定させてもよいが、開始時刻を現在時刻とし、終了時刻をそのイベントが実施される会場の閉園時刻とするように自動的に設定してもよい。

【0007】イベント検出部は、複数のイベント候補を表示する表示部と、複数のイベント候補の中からユーザに体験したいイベントを選択させる選択部とを含んでもよく、選択されたイベントの中から体験可能なイベントを検出してよい。

【0008】選択部は、体験したいイベントに優先順位をつけて選択させてよく、イベント検出部は、優先順位の高いイベントから順番に体験可能か否かを判定し、体験可能なイベントを検出してもよい。イベント検出部は、空き時間に複数のイベントを体験可能な場合、体験可能なイベントの混雑状況に応じて各イベントを体験するスケジュールを配列してよい。

【0009】このシステムは、イベントを体験するまでに必要な待ち時間を略リアルタイムで検出する待ち時間検出部をさらに含んでもよく、イベント検出部は、前記

待ち時間検出部で検出された待ち時間をも参照して、前記体験可能なイベントを検出してよい。

【0010】このシステムは、現在の位置を検出する現在位置検出部と、必須予定の行われる位置および各イベントの実施位置を登録する位置登録部と、ユーザの現在位置、必須予定の行われる位置、および各イベントの実施位置とに基づき移動時間を算出する算出部とをさらに含んでもよく、イベント検出部は移動時間をも参照して、体験可能なイベントを検出してよい。

【0011】本発明の他の態様もまた、スケジュール紹介システムに関する。このシステムは、ユーザの利用可能時間の開始時刻および終了時刻を設定する時間設定部と、複数のイベント候補の中から体験したいイベントを優先順位を付けて選択させる選択部と、優先順位の高いイベントから順番に前記空き時間に体験可能か否かを判定し、ユーザが体験可能なイベントを検出するイベント検出部とを含む。

【0012】イベント検出部は、空き時間に複数のイベントを体験可能な場合、体験可能なイベントの混雑状況に応じて各イベントを体験するスケジュールを配列してよい。

【0013】このシステムは、各イベントの実施位置、実施時間、特定の時刻に始まるものについてはその開始時刻、およびそのイベントを体験するのに必要な待ち時間をそれぞれ保持するイベント情報保持部をさらに含んでもよく、前記イベント検出部は、前記イベント情報保持部を参照してイベントを検出してよい。ここで、イベント情報保持部が保持する待ち時間は、過去の実績データに基づいた平均待ち時間であってよい。

【0014】このシステムは、各イベントの待ち時間を略リアルタイムで検出する待ち時間検出部をさらに含んでもよく、前記イベント情報保持部は、前記待ち時間検出部が検出した待ち時間を前記待ち時間として随時更新して保持してよい。

【0015】本発明のさらに他の態様はスケジュール提案方法に関する。この方法は、所定のエリア内で提供される複数のイベントを体験する利用可能時間を設定し、各イベントの混雑状況を参照して、利用可能時間内に体験可能なイベントを検出する。

【0016】本発明のさらに他の態様もまたスケジュール提案方法に関する。この方法は、所定のエリア内で提供される複数のイベントを体験する利用可能時間を設定し、ユーザが体験したいイベントを優先順位を付けて選択させ、優先順位の高いイベントから順番に利用可能時間内に体験可能か否かを判定して体験可能なイベントを検出し、検出したイベントを利用可能時間を示すスケジュールに配列し、利用可能時間において、配列されたイベントを除いた空き時間に体験可能なイベントを順次検出してよい。

【0017】本発明のさらに他の態様もまたスケジュー

ル提案方法に関する。この方法は、所定のエリア内で提供される複数のイベントを体験する利用可能時間を設定し、利用可能時間内にユーザが体験可能なイベントを検出してユーザに提示し、提示したイベントの中からユーザが体験したいイベントを選択させ、利用可能時間において、選択されたイベントを除いた空き時間に体験可能なイベントを順次検出してユーザに提示していく。ここで、イベントは複数のイベントの組合せとして検出してユーザに提示してもよい。

【0018】なお、以上の構成要素の任意の組合せや、本発明の構成要素や表現の方法、装置、システム、コンピュータプログラム、コンピュータプログラムを格納した記録媒体などの間で相互に置換したものもまた、本発明の態様として有効である。

【0019】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の実施の形態に係るスケジュール提案システムの構成を示す機能ブロック図である。本実施の形態において、スケジュール提案システム10は、テーマパーク内で使用され、テーマパーク内で提供される複数のイベントのうち、そのイベントの混雑状況に応じて、設定された所定の時間内に体験可能なイベントを検出してユーザにスケジュールを提案する。

【0020】スケジュール提案システム10は、ユーザ端末20、管理装置40および待ち時間検出部50により構成される。ユーザ端末20、管理装置40および待ち時間検出部50は、LANなどのネットワーク60を介して情報の授受を行う。本実施の形態においては、スケジュール提案システム10を3つの構成に分けて説明するが、スケジュール提案システム10は一体に設けられてもよい。

【0021】ユーザ端末20、管理装置40および待ち時間検出部50は、PC、PDA (Personal Digital Assistant)、携帯電話、その他任意のハードウェアである。スケジュール提案システム10の構成は、ハードウェアコンポーネントでいえば、任意のコンピュータのCPU、メモリ、その他の素子、およびソフトウェアとしてメモリにロードされたスケジュール提案機能のあるプログラムなどによって実現されるが、ここではそれらの連携によって実現される機能ブロックを描いている。したがって、これらの機能ブロックがハードウェアのみ、ソフトウェアのみ、またはそれらの組合せによっていろいろな形で実現できることは、当業者には理解されるところである。

【0022】ユーザ端末20は、時間設定部22、イベント選択部24、表示部26、イベント検出部28および現在位置検出部30を有する。ユーザ端末20は、各ユーザが携帯可能な携帯端末であってもよく、テーマパーク内に分散的に配置された固定端末であってもよい。管理装置40は、中央制御部42およびイベント情報保

持部44を有する。

【0023】時間設定部22は、ユーザがテーマパーク内でイベントを体験可能な利用可能時間の開始時刻および終了時刻を設定する。図示していないが、ユーザ端末20は、時計(RTC:リアルタイムクロック)を有し、開始時刻を現在時刻とし、終了時刻を閉園時刻として自動的に設定してもよい。閉園時刻の情報は管理装置40から各端末に送信されてよい。

【0024】イベント選択部24は、複数のイベント候補の中からユーザに体験したいイベントを優先順位をつけて選択させる。イベント検出部28は、ユーザの選択に応じて、待ち時間、実施位置、実施時間、および特定の時刻に始まるものについてはその開始時刻を参照して、そのユーザの利用可能時間内に体験可能なイベントを検出する。

【0025】ユーザが体験したいイベントに優先順位をつけて選択している場合、イベント検出部28は、選択されたイベントのうち、優先順位の高いイベントから順番に利用可能時間内に体験可能かを判定して体験可能なイベントを検出していく。その後は利用可能時間内から検出されたイベントを除いた空き時間に体験可能なイベントを順次検出していく。なお、イベント検出部28は、同じ優先順位に複数のイベントが選択されている場合、各イベントの待ち時間などの混雑状況に応じて各イベントを効率よく体験できるスケジュールを検出してよい。

【0026】表示部26は、ユーザに提示する複数のイベント候補やイベント検出部28が検出したイベントのスケジュールを表示する。現在位置検出部30は、GPSなどの位置検出機能を有し、ユーザの現在の位置を検出する。ユーザ端末20がテーマパーク内に配置された固定端末である場合、ユーザ端末20は、予め設定された位置情報を保持してよい。イベント検出部28は、ユーザの現在位置および各イベントの実施位置とに基づきユーザの移動時間を算出する算出部を有する。イベント検出部28は、ユーザの現在位置と各イベント間の移動時間も参照して、体験可能なイベントを検出する。

【0027】待ち時間検出部50は、各イベントの混雑状態を検出し、それぞれのイベントの待ち時間をリアルタイムで検出する。待ち時間検出部50は、各イベントの実施位置に設置されてよい。待ち時間とは、例えばあるイベントを体験しようとしている行列の最後尾に並んだ場合に、イベントを体験できるまでにかかる時間のことである。なお、全てのイベントに待ち時間検出部50を設置する必要はなく、待ち時間の変動の激しいイベントのみに設置してもよい。

【0028】イベント情報保持部44は、各イベントの実施位置、各イベントの実施時間、特定の時刻に行われるイベントについてはその開始時刻、各イベントの平均待ち時間、各イベントの実施位置間の距離、各イベ

ントの実施位置間の移動時間などイベントに関する情報を保持する。例えばテーマパークの場合、各イベントの待ち時間は時刻によって変化する。したがって、イベント情報保持部44は、各イベントの平均待ち時間を時刻に対応づけて保持してもよい。

【0029】中央制御部42は、ユーザー端末20からの問合せに対してイベント情報保持部44に保持された情報を参照してユーザー端末20に送信する処理や、待ち時間検出部50が検出した待ち時間の情報を受信してその情報をイベント情報保持部44に記録する処理などを行う。

【0030】次に、スケジュール提案システム10によりスケジュールを提案する処理の手順を説明する。ユーザが利用可能時間を設定し、体験したいイベントを選択すると、イベント検出部28は、ネットワーク60を介して管理装置40の中央制御部42から各イベントの情報を取得する。イベント検出部28は、利用可能時間、ユーザが体験したいイベント、ユーザの現在位置、各イベントの情報などを参照してユーザが体験可能なイベントを検出し、ユーザに効率的なスケジュールを提案する。

【0031】図2は、複数のイベント候補が表示された表示部26を示す。ここで、本日のイベントとして、「回転ジェットコースター」、「波乗りジェットコースター」、「メリーゴーランド」、「探検ツアー」、「フラワーパレード」、「星空パレード」、「マジックショー」が例示されている。イベント選択部24は、ユーザに体験したいイベントに優先順位をつけて選択させる。優先順位として、絶対体験したいイベントの場合の「絶対!!」、その次に体験したいイベントの場合の「かなり」、時間が許せば体験してみたいイベントの場合の「できれば」という3段階がある。また、ユーザが特に体験したいと思わないイベントにはマークをつけないようにする。

【0032】本実施の形態において、イベント検出部28は、ユーザが選択した優先順位に基づいて各イベントを体験するスケジュールを検出するので、ユーザの希望を反映させた上で効率的なスケジュールを提案することができる。

【0033】図3は、イベント情報保持部44の内部構成を示す。イベント情報保持部44は、平均待ち時間欄、実施時間欄、開始時間欄、実施位置欄を有する。ここで、例えば「回転ジェットコースター」は平均待ち時間が1時間で、実施時間が15分で、随時開始され、実施位置はAランドである。また、例えば「星空パレード」は、平均待ち時間が1時間で、実施時間が30分で、20:00から開始され、Cランドで実施される。イベント情報保持部44は、待ち時間検出部50が検出した略リアルタイムの待ち時間を随時更新した情報を各イベントに対応づけて保持してもよい。イベント検出部

28は、イベント情報保持部44を参照することにより、各イベントを体験するのに必要な時間を把握することができ。

【0034】図4は、イベント検出部28が効率的にイベントを体験できるスケジュールを検出する過程を示すタイムチャートである。ここで、現在の時刻が9:00で、このテーマパークの開園時間が22:00であるとし、ユーザから利用可能時間に関する特別な設定はないものとする。つまり、このユーザの利用可能時間は9:00~22:00までの13時間である。ユーザが体験したいイベントを図2に示したように優先順位をつけて選択した場合、イベント検出部28は、まず最も優先順位の高い「絶対!!」が選択されたイベントが体験可能か否かを判定する。「絶対!!」が選択されたイベント「回転ジェットコースター」も「星空パレード」もこの利用可能時間内に体験可能である。

【0035】ここで、「星空パレード」は、開始時刻が20:00からと決まっているので、まず「星空パレード」をタイムチャートに配列する。次に、「回転ジェットコースター」を体験するのに最も待ち時間の少なくても同時に「回転ジェットコースター」を配列する。イベント検出部28は、その後、次に優先順位の高い「かなり」が選択されたイベントが体験可能か否かを判定する。ここで、「波乗りジェットコースター」、「メリーゴーランド」は「かなり」が選択されている。イベント検出部28は、これらのイベントが体験可能な場合、この2つのイベントをタイムチャートに配列する。なお、図3に示したように、「波乗りジェットコースター」は、「星空パレード」と同じ「Cランド」で実施される。したがって、イベント検出部28は、ユーザが効率的にイベントを体験できるように、「星空パレード」の前にユーザが「波乗りジェットコースター」を体験するようなスケジュールとする。

【0036】図5は、イベント検出部28により検出されたイベントが表示された表示部26を示す。ここではユーザが体験すべきイベントが順に表示されている。なお、ユーザー端末20は、各イベントの予定時刻になったら、ユーザにメッセージを通知する機能を有してもよい。

【0037】図6は、複数のイベント候補が表示された表示部26の他の例を示す。ここでは、イベント選択部24は、ユーザに体験したいイベントの順に選択させていく。表示部26の左側にはユーザが選択したイベントのタイムチャート70が表示され、右側にはイベント候補が表示される。イベント検出部28は、利用可能時間内にユーザが体験可能なイベントをイベント候補として検出する。表示部26は、イベント検出部28により検出されたイベント候補を右側に表示する。

【0038】まず、ユーザが「フラワーパレード」を選択すると、「フラワーパレード」の開始時間が14:0

0から決まっているので、タイムチャート70の14:00からの間に「フラワーパレード」が配列される。またこのとき、イベント検出部28は、利用可能時間からフラワーパレードを体験するのに必要な時間を除いた空き時間で体験可能なイベントをイベント候補として検出する。表示部26は、イベント検出部28により検出されたイベント候補を右側に表示する。スケジュール提案システム10は、このようにして、ユーザに順次イベントを選択させてもよい。また、イベント検出部28は、複数のイベントの組合せとしてイベント候補を検出してユーザに提示してもよい。

【0039】上述のように、本実施の形態に係るスケジュール提案システムを用い、テーマパークのように人の多い場所でも、各イベントの混雑状況に応じて、効率よくイベントを体験できるスケジュールを提案することができる。

【0040】以上、本発明を実施の形態をもとに説明した。この実施の形態は例示であり、それらの各構成要素や各処理プロセスの組合せにいろいろな変形が可能なこと、またそうした変形例も本発明の範囲にあることは当業者に理解されるところである。以下、そうした例を述べる。

【0041】実施の形態では、イベント検出部28が一日のスケジュールを提案するようにして説明したが、例えばユーザが20:00から実施される「星空パレード」を見たい場合、その数時間前から「星空パレード」が実施されるまでの空き時間に体験できるイベントを検出するのに用いることもできる。この場合、ユーザは必須予定として「星空パレード」を選択する。イベント検出部28は、イベント情報保持部44を参照して、ユーザの空き時間に体験できるイベントを検出する。

【0042】さらに、イベント検出部28がユーザが体験できるイベントを検出したときに参照した各イベントの平均待ち時間と、実際の待ち時間が大きく異なる場合、イベント検出部28は実際の待ち時間を参照してユーザが体験できるイベントの新たなスケジュールを検出して、ユーザに通知してもよい。

【0043】なお、実施の形態で説明したスケジュール提案システムは、テーマパーク内に限られず、色々な場所でのスケジューリングに用いることができる。例えば、ある観光地に出かけたときにその観光地で効率よく観光スポットを回るためのスケジューリングに用いてもよい。さらには、あるひとつの観光地に限らず、旅行に行ったときに、その周辺の国や都市などを効率よく回るためのスケジューリングに用いてもよい。この場合は、各国や都市などの交通機関の情報をイベント情報として参照してもよい。また、所定の時刻に人と待ち合わせをしているときに、その時刻までに少し時間がある場合にその間に体験できるイベント情報を検出するのに利用してもよい。

【0044】

【発明の効果】本発明によれば、ユーザに効率よくイベントを体験させるスケジュールを提案することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 実施の形態に係るスケジュール提案システムの構成を示す機能ブロック図である。

【図2】 複数のイベント候補が表示された表示部を示す図である。

【図3】 イベント情報保持部の内部構成を示す図である。

【図4】 イベント検出部がスケジュールを検出する過程を示すタイムチャートである。

【図5】 イベント検出部により検出されたイベントが表示された表示部を示す図である。

【図6】 複数のイベント候補が表示された表示部の他の例を示す図である。

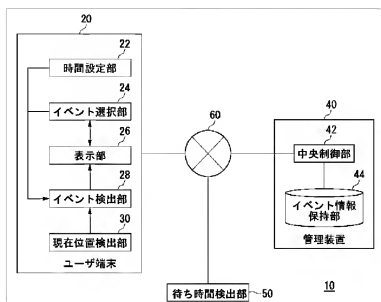
【符号の説明】

10・・・スケジュール提案システム、20・・・ユーザ端末、22・・・時間設定部、24・・・イベント選択部、26・・・表示部、28・・・イベント検出部、30・・・現在位置検出部、40・・・管理装置、42・・・中央制御部、44・・・イベント情報保持部、50・・・待ち時間検出部。

【図4】



【図1】



【図2】

今日のイベント	絶対!!	かなり	できたら
回転ジェットコースター	◎	○	○
激流ジェットコースター	○	◎	○
メリーゴーランド	○	◎	○
探検ツアー	○	○	◎
フラワーパレード 14:00~	○	○	○
星空パレード 20:00~	◎	○	○
マジックショー 1時間ごと	○	○	◎
⋮	⋮		↺
今日は22:00で閉園します。			

26

【図3】

	平均待ち時間	実施時間	開始時間	実施位置
回転ジェットコースター	1時間	15分	随時	Aランド
波乗りジェットコースター	40分	10分	随時	Cランド
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
星空パレード	1時間	30分	20:00	Cランド
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

44

【図5】

1. 回転ジェットコースター
⋮
6. 波乗りジェットコースター
7. 星空パレード
8. ⋮

さあ、今すぐ回転ジェットコースターに並ぼう!!

26

【図6】

26

9:00
70

14:00
フラワーパレード

22:00

今日のイベント

- ☐ 回転ジェットコースター
- ☐ 波乗りジェットコースター
- ☐ メリーゴーランド
- ☐ 探検ツアー
- ☒ フラワーパレード 14:00~
- ⋮
- ⋮

フロントページの続き

(72)発明者 筈井 隆史

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三
洋電機株式会社内